

父正ヶ大崎



一九八一年七月〜八二年七月



……はじめに……お楽しみはこれからだ……

水曜日の朝、センターで、マンガのついた八んなびうを配ってるやつらがいる。ビラには、詩をつくらう、版画をほらう、川柳をつくらう、絵をかこう、と書いてある。ビラよりむしろは一万円札がほしいんだ。水曜日の夜、うすぐらい電燈の下に大きなポスターはって、奥の部屋をゴソゴソがタガタなにかやっているとある。ときには歌者までとびだしてくる。

日曜日朝、三角公園の舞台の上で、八んな旗だててベニヤ板にたくさん絵をはってそこらへんをえの心でちらかして、絵をかいてるやつらがいる。よくみると、アンコの仲間もいるが、どうでもないやつもいるようだ。三時間もすると、リヤカーに道具をつんでどこかへ消えていく。

あんなことやって處のたしになるわけでもなし。

いったいあいつらは何なんだ  
何者なんだ

その、あいつらが実は「創造広場」であり、この「報告作品集」に、その全体を明らかにしたいと思います。

創造広場は、釜ヶ崎の仲間それぞれが、自分の生活体験、仕事体験の中から感じたもの、意見、願い、怒りを、詩や版画や川柳や絵などの具体的な表現の形にしていく場です。

それをみんな集ってやっていくことで人に伝えることができるし、他人と自分の考え方の違いなどにきづくと思います。そして、本当の楽しみをとりもどしていきたいと思えます。

ホソボソとほぼ一年やってきましたが、これからが本番です。あなたが主役です。

(武内)

<81年>

# 一創造広場のこれまで一

- ▶ 7/11 最初のパンフを発行。 (P5~12 参照)
  - 5人の人が詩、絵、短歌、俳句、その他をかく。
  - としあぞ。7月から、創造広場をはじめ、集って、表現する場、時間をつくることにする。
  - 6月くらいから、創造広場をはじめはすだったが、結局7月に。
- ▶ 7/22 うたと創造広場について。
  - 喜望の家の前の上り坂をたして、おもちゃの楽器をばらし、歌をうたう。
  - 参加者6人くらい。まあ、最初はこんなものでは。その人数が今でも77%。
- ▶ 7/29 うたと体操
  - Oさん体操をおしえてもらう。外で輪になっておとんどみたり……
- ▶ 8.5 絵を描く
  - 参加者3人で、互にスケッチをしあう。
  - 81年釜崎夏祭りに参加する方法を考へて。
- ▶ 8/12~15 オ10回夏祭りに参加。 (P.114~P.115)
  - ベニヤ板3枚の絵とこれまで描いてきた絵を展示。周ちんかきばる。
  - 落書コーナーと似顔絵コーナーを中心に、メンバー6人が思い思いに動きまわった。思ひぬく長を集めた(?)
- ▶ 9~10月
  - 3回ほどやって絵を描いたり、話をしたりしたが続かず。
  - 創造広場の仕掛け人 武内の勝手で数回休む。周りのメンバーから、パンフを出そうと言われ、バタバタしたが結局出せず。どうもすみません。
  - このころから、久保さんが、ときどきのどきにくる。
- ▶ 11/13 パンフ発行。(11月12月号) (P.13~16)
  - 創造広場の再出発を決定!! 自分の気持ちと自信をもって、何かを通じて表現し、人とつながる場、本当の楽しみをとりもどす場として、出発。
  - 11月、12月は、としあぞ、い3んな表現(詩、スケッチ、川柳P、民話、版画、その他)をひととおりやってみることにする。
- ▶ 11/20 オ2回「絵をかき」 (P.17, P.20)
  - カガミをみて自画像をかき
  - マンガ家志望のぶせん初登場。今日は絵、かんとは。のちに、常連となる。
- ▶ 11/13 オ1回創造広場「詩をつくる」 (P.18)
  - い3んな詩の形式を知った。
- ▶ 11/27 オ3回 川柳をつくる (P.19, 22)
  - 初心者ばかりだったがみんなたかなかできる!!
- ▶ 12/4 オ4回 写真を見る (P.21, 24.)
  - 写真をつかつて物語をつくるはずだったが、写真を見るだけに終わった。
- ▶ 12/ 12 オ5回 版画をほる (P.23, 25, 28)
  - はじめのころの人が多かったが、2時間の間にあつという向にづくていった。
- ▶ 12/25 オ6回 歌をうたう。
  - 喜望の家、釜崎夜間学校とともに、『働く仲間クリスマス会』をやて、みんなおおいにうたった。

- ▶ 12/31 新年号パンノ発行。 (P.25~28)
- ・ 喜望の家、釜加寺夜間学校とともに、またまた『年忘れ会』をやつて、みんな おおいに そば を食う。

<82年>

- ▶ 1/6 オ7回 詩をよむ (P.30 )
  - ・ 参加者3人で、ほそぼそと11つかの詩を読み、文はくほこを言いあう。
- ▶ 1/13 オ8回 絵を描く (P.29, 30)
  - ・ クロッキーをやつてみた。短時間を絵をかのは なかなかたいた。
  - ・ Sさん 活やくある。ピラをかいて、お盆をやる。
  - ・ このころは、きびしい冬地獄。(かし、倉造広場はあつてもじつは(?)
- ▶ 1/20 オ9回 川柳をつくる (P.31, 34)
  - ・ 冬をテーマにつくつてみた。
- ▶ 1/27 オ10回 写真と絵で物語をつくる (P.33, 36)
  - ・ Kさんと古本屋で古雑誌をかってきて、写真をきりぬき、順準をし、練習をある。
  - ・ Yさん初の登場。おもしろい話をつくつてかんびつた。
  - ・ 彼はカメラを腕にぶら下げてカメラマン。将来は、金ためてヨーロッパにいらして写真 をとる。と夢をかたる。
- ▶ 2/3 オ11回 版画をほる (P.35, 38)
  - ・ みんな 2回目で、うまくなつてゆく。
- ▶ 2/10 オ12回 民話をよむ (P.37, 40)
  - ・ 馬と骨と、マイペースで 柳田泉を語る。
- ▶ 2/17 オ13回 歌をうたうつくる (P.39, 44)
  - ・ みんな 小学生にもどつた気分を、二部合唱などを。
- ▶ 2/24 オ14回 □ウ粘土でつくる (P.44)
  - ・ ビライ本む。
- ▶ 3/3 オ15回 詩をつくる。 (P.41~44, 46)
  - ・ 今回から、倉造広場のころもかえ。これほどは、いろんな表現をもつてきたが、具体的に何かをつくり、ちくせきしてというこで、詩(オ1水曜日)、版画(オ2, オ3水曜日)、川柳(オ4水曜日)にしぼつて、くりかえしていくことにする。
  - ・ 詩については、『労務者渡世』で活やくしている 日野善太郎さんに来てもらい、共に詩をつくり、語りあう場所をめざすことにした。
  - ・ このころから、毎週発行しているピラにSさんのまんが『コマ釜加寺』が連さいされる。
- ▶ 3/10 オ16回 版画をほる (P.45, 48 )
  - ・ 今回は下絵をかいて、来週、1器予定だったが、みんな つくるのが早い!!
- ▶ 3/17 オ17回 版画をほる (P.47, 50 )
  - ・ 色をつかつてやつてみた。(一版多色刷り)
- ▶ 3/24 オ18回 川柳をつくる (P.49, 52)
  - ・ テーマは仕事で、
- ▶ 3/31 オ19回 絵をかく (P.51, 54)

- ▶4/7 ㊦20回 詩をつくる (P53, 56)  
 ・今月から詩(㊦水曜日), 版画(㊦2), 川柳(㊦3), 絵(㊦4)に変こう。  
 ・最近, 仕事がハツキセいか, 参加者が少なくなってきた。
- ▶4/14 ㊦21回 版画をほる (P55, 58)  
 ▶4/21 ㊦22回 川柳をつくる (P57, 60)  
 ・テーマ, あそび
- ▶4/28 ㊦23回 絵をかく (P59, 64)  
 ・性のイメージを絵にする
- ▶5/2 <出張>創造広場, 雨で中止。  
 ・5月から毎月㊦日曜日午前中, 三角公園に創造広場(絵画大会)を出張させることにする。しかし, 5月のそれは雨で中止に存した。ごんねん。  
 ・このころからのビラに, 久保さんの絵がせいぜい 的 置止してくる。  
 彼いわく「どや!! うまいやろ〜!!」 (P63, 66, 93~98)
- ▶5/5 ㊦24回 詩をつくる (P65, 68)  
 ・テーマ, 仕事 うしろ, まだまだ参加者がいい詩をかく。
- ▶5/12 ㊦25回 版画をほる (P67, 70)  
 ▶5/19 ㊦26回 川柳をつくる (P69, 72)  
 ▶5/26 ㊦27回 初心者のための美術教室 (P71, 76)  
 ・かんたんな基本的なことをおぼしめば, だれでも絵はかけるのだ!! (P72~74, 76)
- ▶6/2 ㊦28回 詩をつくる (P75, 78)  
 ▶6/6 「出張」創造広場 (P77, 80)  
 ・6月の㊦日曜日は晴れていたどころか, カンカン日照り。みんな汁をかいてさらさらしてが  
 ほんじかかんはうて絵をかいた。終て冷めたいいビールでかんぱい!
- ▶6/14 ㊦29回 版画をほる (P79, 82)  
 ▶6/16 ㊦30回 川柳をつくる (P81, 84)  
 ▶6/23 ㊦31回 詩の朗読会 (P85, 88)  
 ▶6/30 ㊦32回 初心者のための美術教室 (P87, 90)  
 ・釜ヶ崎㊦17回夏祭りに今年も創造広場が参加することにする。  
 ・バヤ板6枚の釜ヶ崎の絵の展示, これまでの創造広場の報告作品集を発行することにした。
- ▶7/4 「出張」創造広場 (P89, 92)  
 ▶7/7 ㊦33回 詩をつくる (P91, 94)  
 ▶7/14 ㊦34回 版画をほる (P93, 96)  
 ・最近, 参加者は非常に少ない。新しい顔が出てほしい。
- ▶7/21 ㊦35回 川柳をつくる  
 ▶7/28 ㊦36回 絵をかく  
 ・夏祭り展示の大作を描き始める。
- ▶8/12~15 ㊦37回 ㊦17回釜ヶ崎夏祭りに参加  
 ・展示する絵や発行するパンフのために, 昼は㊦い部屋の中で, とうめんを  
 すりながら, 連日徹夜しながら作業をする。

こんなお正月, バタバタ, 蹴蹴, ホッポリやってきました。あなたの新しい息吹きを創造広場へ88

# 金ヶ崎 創造広場

No. 1  
1981.7.17.  
創造広場発行

交流誌

いま、こうぞ  
つくりながら  
いままで  
いく

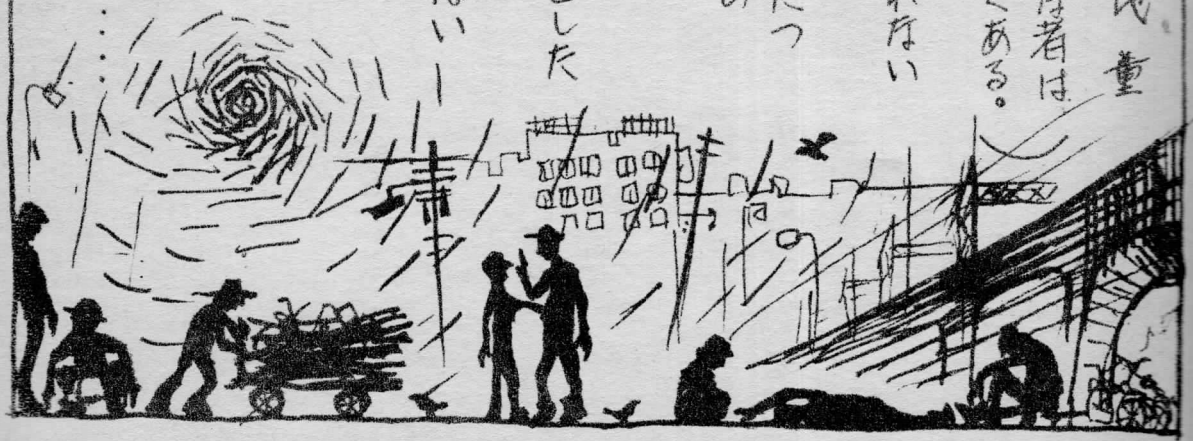
腐った街  
の  
底には清水が流れ  
それは  
焼けたアスファルト  
の上の  
屍体から  
ウジから  
蠅から  
泥酔者のヘドや  
血タニヤ  
シヨンベン  
大便にいたるまで  
もうココでは  
精液さえも  
混じり合って

一九八一年夏

真に残酷で醜悪な者は  
一見、美しい側である。

大地 重

得体の知れない  
夜や  
あの殺気だつ  
あきらめの  
朝……  
今では  
あの生々とした  
幻想の  
光る朝はない  
それでも  
腐った街  
の  
底には  
清水が流れ……



釜ヶ崎の路上で酒を飲み

作れる歌 併せて反歌

春過ぎて夏来たらし 吾が

反ら 陽に焼けて赤くなり

酒飲めば 尚更に 寄り寄り

て 酒飲めば 赤鬼の 酒盛

りするが如くなり

反歌

釜ヶ崎 青葉若葉は

無ければも

チンボ振り出し眠る怨あり

ミノギ屋も 持って行かない

赤チンボ

路上の風景

十年程前に釜ヶ崎に来た時  
一番印象に残った風景は、

労働者が、昼の日に道路で  
チンボを出して帰ころがった  
り、丸裸で道路を歩いている  
姿であった。

それは、その後も 夏でも  
冬の雪の降る日でも見る風景  
だった。

関東の日雇労働者の寄せ場  
で、このような風景を見るこ  
とのなかった私は、自由の地  
釜ヶ崎の風景にひどく感動  
した。

どんな形、どんな目的にし  
ても、道路が労働者の自由に  
使える場所であることは非常  
に良いことである。

多分、釜ヶ崎文化は道

路や公園で生まれるだろう。  
道路や公園の自由な使用は、  
文化の発生の為には、どうし  
ても必要である。

又、最近の釜ヶ崎では、道  
路で寝ている労働者を、ケー  
サツが皮靴で蹴っている風景  
もよく見る。

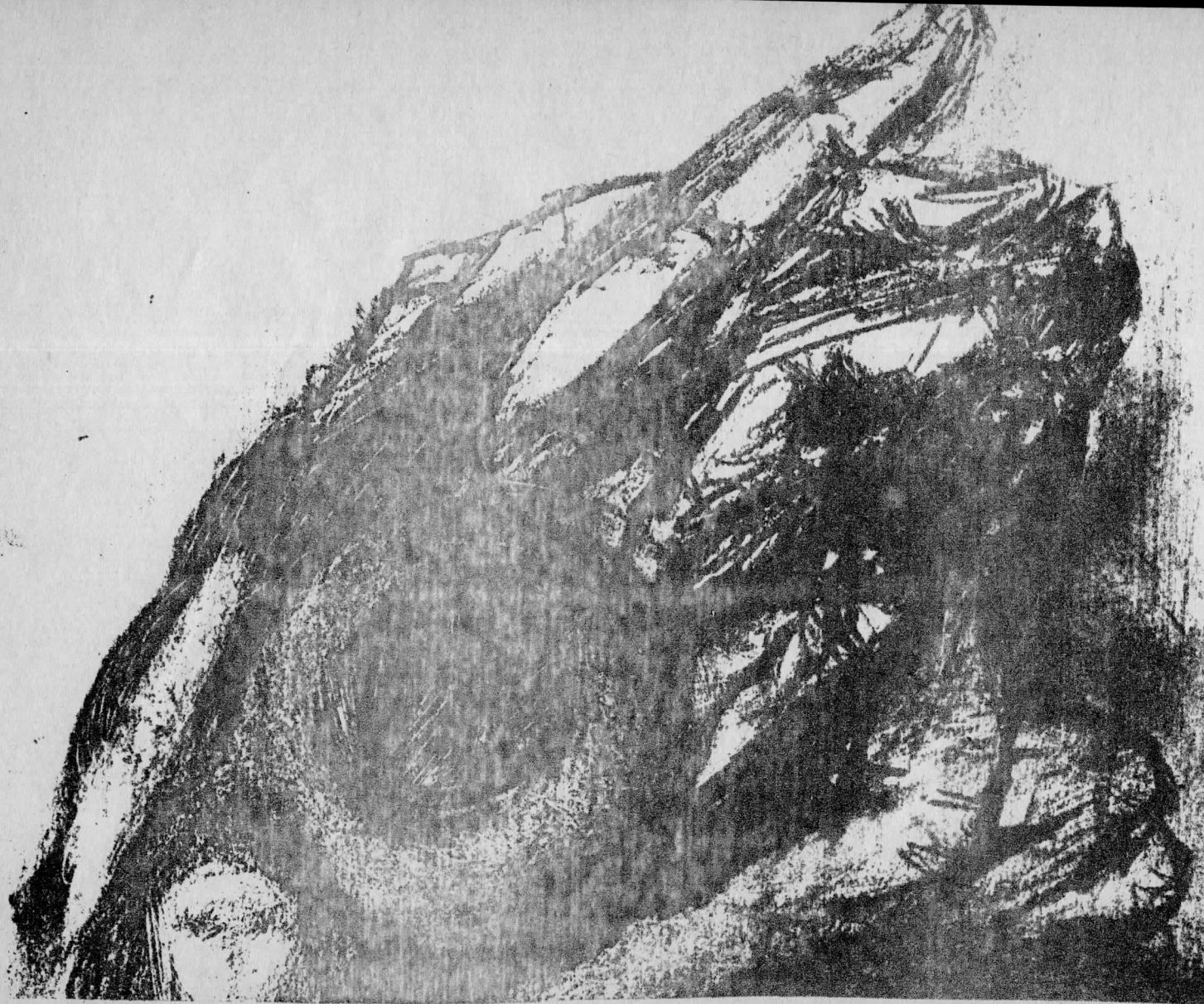
不法駐車の際は蹴飛ばされ  
なくても、労働は蹴飛ばされ  
る。  
者

道路を車を、それを作った  
人間よりも大切にす。――  
そのような風景は釜ヶ崎だけ  
ではないが、物々に対する  
人間の関係は、釜ヶ崎におい  
て最も鋭く現れる。

(馬之骨)







5-8-



19-

大地豊

夢新 じか 寺 光 じ 行

セ夕に 母にむしんの ふみおく  
ざくろの花 飛葉 病にす 妻もてぬ

夏の雨 喜ぶ子供 ぬれおぼす  
子供等 地車祭の 細く

わづつおれた 又のぼるかな 里の山

母の道 人知れぬやどろやしん

ひやりする 娘心ろの 駈かーさ

ひまわりの心にそめる 悲しさに

泥沼に 睡蓮の花 みたか

ひもじいといわいでほーい 土手の道

詩

<sup>いさやま</sup> 生板は 権利に強く

あふる夜の野良犬 ーかみつきごみ箱

遠 ぬかちたのほーを 眺めて

自分で討い 自分で答えろ

吉田 義男



816.016

僕は、今、釜ヶ崎で絵をかいてまわっています。4月から釜にいますのですが、二二の人たちと話したり、街の雰囲気を感じていると、ほんとなく引きつけられるものを感じます。今の日本や日本人の忘れていているもので、とってても大切なものが二二にはあるように感じたり、今の社会の姿を感じたりするわけです。そのへんを僕なりに絵にしていこうと思っただけです。

いままで、おにぎり屋さんの絵や、にがみ絵や三角公園の人の絵なんかをかいてきましたが、僕が絵をかいていると、いろんな人が話しかけてくるので、とっててもうれしくなります。

この前なんか、僕の絵をみて、「これは、釜ヶ崎の人間の悲しみか、かてないなあ。」と書いてくれた人がいました。そんなとき、「ドキッ」とすると同時に、「もっとガンバラなくちゃ」と思い、うれしくなるのです。

これからもういろんな所で絵をかいていきますから、見かけたら声をかけてください。

上の絵は、ガード下から店と街の様子をかきました。ミュージンペンで描いて、其の傍に書いてあります。

か ま が さ き

# 創造広場

## のご案内

7月22日(木)より、毎週水曜日P.M.7:00から、喜望の家一階広場にて、「創造広場」を開いていきたいと思います。何をやるのかといわれますと、粘土で何かをついたり、うたをうたったり、絵をかいたり、らくがきをかいたり、詩や短歌を発表したり、体操したり、絵しばりをついたり、いろんなことを、みんなで楽しくやっていくのです。

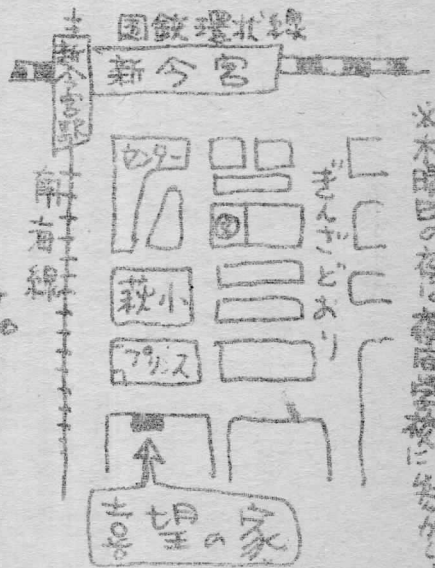
興味ある人もない人も、とにかく一度顔を出してください。

とりあえず

- 7月22日は、うたをうたい、広場について話す日です。
- 7月29日は、うたと体操の日です。  
P.M.7:00

※火・水・木曜日の昼は、広場をオープンにしますので、自分のつくった詩、絵や写真をもってきて、交流誌をつくりましょう。

1人1ページ担当。黒のボールペンか、サインペンで書いてください。



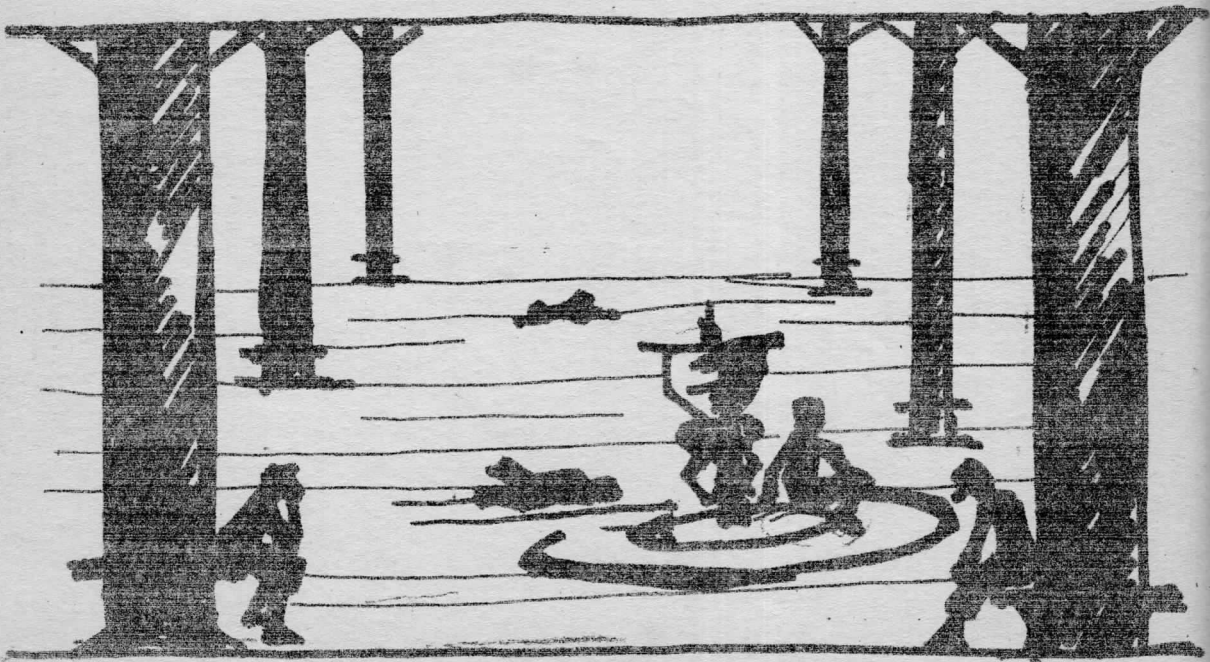
※水曜日の夜は、喜望の家が静かになります。

か ま が さ き  
創造広場通信

NO.2.

1981.11.13

互いに解放し、  
創造しながら、  
対話しながら、  
楽しんでながら、



# 創造広場とは……

私達は、自分の生活や仕事の中で、いやなことなどがあつた場合、酒を飲んだり、けんかをしたりして、自分の気持ちをこまかしてすこしてしまいがちです。でも、それだけでは何も解決できないし、何も生まれてこないのは当然です。そんなとき、自分の気持ちを自信をもって表現する方法をもっている人や他の人にうまく伝え、相談していくことができる人は、その場をのりきり、切り開いて、エネルギーに生きていくことができます。しかし、ほとんどの人は、そうなりたいとは思つていても、互いに、生きていくための糸口がわからないといった状態です。その糸口を見つけたすには、やっぱり自分達自身で、

自分の気持ちを表現し、他の人たちとうまくつながつていく場を作り出していく以外ありません。そのことが、本当の楽しさをとりもどしていくことであるし、本当の仲間づくりをつくつていくことではないでしょうか。

そういう意味で、『創造広場』を新しく始めていきたいと思ひます。まだまだ最初だから、うまくいかないかもしれないけれど、いろんな表現をしながらやっていきます。内容は、詩、スケッチ、歌、体操、粘土など、いろんな表現方法をつかつていくわけですが、詩や絵をかくのは自信のある人とか、何か表現したいが方法がわからない人や、何も表現することができない人と話したい人などが集つて、互いに、教えあい、創造しながらやっていけば、すばらしい仲間づくりができると思ひます。



# プロブレム

(11月・12月分)

11月13日 ↓ 詩をつくる

20日 ↓ スケッチをする

27日 ↓ 川柳をつくる

12月4日 ↓ 写真とつかって表現

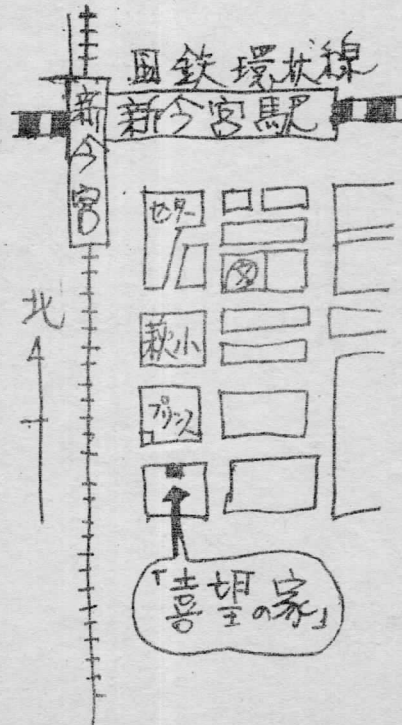
11日 ↓ 民話を読む

18日 ↓ 版画をつくる

✓ 25日 ↓ 教をうたう。

※体操は毎回必ず教えます。

▼とき — 毎週金曜日 夜7時〜9時  
▼場所 — 「希望の家」一階広場



▼参加費 — 一回 100円 (資料材料、お茶代)

※だれでも参加してください。

※酒をのんでこないください。

※「らくがき新聞」とんどん役ってください。

へ詩

見知らぬ人と

しっかりせよと語り合ひ

何故か心の窓を

開いたかのように思えたが

いつも名も無き雲雀の様に

惚かたつていく我が身

(可飯場口から 風来坊)

お地蔵さん

いつも立ってるお地蔵さん

雨の逢る日も 風の夜も

一りんの花 咲く様に

あで道ずたりに 悲しげに

鶯の行きかい 守まこれる

友は無いか お地蔵さん

(風来坊)

西成の詩

思いは果てない 仮の宿

今は淋しいよ この街から

出稼に行くんだよ 仮の宿

仲間なく 友はなく 独りぢぢみ

自分の部屋に 愛と言う一りんの花も

知らぬほど 悲しい私です

~~独~~ 独を愛し 孤独との戦いが

いつも仮の宿 我が身は いつも

赤い風船のように 悲しいよ

進歩のなり私です

(風来坊)

夜7時「まはるの家」二階

創造広場

顔の絵を見て、描く

顔の絵を見て、自分の顔を描いて、他人の顔をみる

今回の創造広場では、顔(顔の絵)について見たり、描いたりしていきたいと思います。

実際、絵をかくのは、きらいな人が多いとは思いますが、それは、うまい絵をかこうと思っからではないでしょうか。きれいな花をかいたり、静物画とか、のどかで平和な風景画などは、本当の絵ではなく、自分の生活やまわりのものの中から、物や人柄をみるに、気持ちがつまみ、表現されているものが、本当の絵ではないかと思っております。

どんな気持ちで、えんぴつをもって、かがきをやるような気持ちで、絵をかいていけば、だれでもすばらしい絵が描けると思っています。

今回の創造広場では、美女のホスターのような笑顔だけのうすうすぺらの顔ではなくて、みんながそれぞれもっている内面を表す顔の絵を見たり、自分の顔を描いたりしていきましよう。

ぜひ、参加してください。絵のきらいな人、大歓迎!

(顔の、お労働者の顔)





通信

# 市場創造

期五才  
3回  
才

今日

11月27日

夜七時、喜望の家一階  
参加費百円  
待つてます。

## 川柳をつくらう

センターは人買身売り見合公認市場  
人買いと身売りが見合利益の朝

相対の美名で今日も市がたち

職安の看板見上げて見合口をこ

金を出すで半ンバ役所が天下願

特別の事情で相対定着し

読売新聞の見出しに(81・11・20・朝)

アブレ手当廃止へ  
日雇い雇用給付金の年間をヤミ支給

暴動も起せまいとアメ廃止

職安のケツを働くアニコふく

金もらうでリッ毛ハイコロシ

特別の事情フタしてアブレ切り

印紙ある身が申告切りすてる

申告書通りの仲間しかにせむ

モ手付のカンパで始まる金の冬

## 物言わぬ民は国家の鎮め石

日本国には新聞・テレビ・ラジオ・雑誌など様々な報道機関なるものがあって、色々な声がかみみあげられてくるように見えますが、報道記事のほとんどは役所・警察の発表にもたれかかったものです。ようするに、日本国行政機関の意志伝達・宣伝が大半を占める。

「アブレ手当廃止」の読売の記事はその最たるもので、リード文と本文でくり違ひを見せ、全体として、なにやら金のアニコが不当にアブレをカスメとっているかのごとくに読め、お役所は正義の味方のごとくだ。

国家の声は大きく民の声は響かない。

貿易収支赤字国が国債を発行する矛盾、軍備増強、アブレ切り捨て。役人・資本家はあわたたくし動けども、民に声なく動きなし。かくて、日本国家泰平、牡丹花爛漫。

## さりながら

どっこい われら生きている

わたしたちの声を、表現とごすまし、野太く響きわたらせようではありませんか。

# 報告 創造広場 自分の顔をかく



まずは自己紹介から

袖ふりあつても他生の縁とせら、創造広場にあつ  
まつて、向い合う人、隣の人、全然知らん顔で話  
をするというわけにはいかないので、絵を描くと  
いうことを含めて自己紹介。

自分の顔を見つめろのは恐いという声が大半で、  
それは自費の念であらうか、という声もでた。

## カガミとせらめつこ

絵を画くことになれた人、なれな人、色々だ  
が、まず自画像をかいてみようという事で、し  
ばらくカガミとせらめつこ。出来上がった絵を並  
べると、なれな人を含めてなかなかのもの、で  
しばしホメ合ひっこ。全体として、自画像はきび  
しい表情のものになりがちのよつに鬼われた。人  
は自分をみつめる時、つねに厳しくなるものなの  
だろうか、そつだとすれば、一日一回は鏡を見る  
習慣を身に付けたいものだ。

自分の顔を見つめるのは恐い、さ知案にあらわ  
した人が一人。何回書いても鼻から下しか描けな

い未定作品。しかし、他人の顔は実に遠者に描いてみた。

## もっと技術を身につけよう

それでれ特長があつて面白かつたが、上手な人の描いた  
ものは色んな技術があつたわけて、表現豊かなものとなつて  
いる。ある程度、技術を覚えることも必要ではないか、と  
いう反省があつた。

## たがいにてたかり体操

ラジオ体操のように一人で号令をかけてする体操ではな  
く、二人一組になつて、互いにほぐし合つという体操？こ  
を、創造広場では毎回おこなつてゐる。互いに、体をさめ  
り、さわられることに、なんとわなしのテシがあるが、そ  
れを吹き飛ばして実行するとき、互いにさわやかな健康に  
近づいて行く。あなたもせつてみませんか。

① 環状線  
新今宮駅

銀座とうり

小坂

喫茶コリン

家の希望

毎週 金曜日  
午後7時より

・家の希望一階広場

・参加費 100円

南海本線

# 通信 場広創造 期2 回4

12月4日 創造広場(夜七時)

## 写真と絵で物語る

寒い風状体をつきよす日ですが、ほん  
ぼって生きていくしかありません。

さて、今回の創造広場は、写真と絵を使  
って、集ったみんなを話さしようと思って  
います。。。。

三角公園・ガード下の店・トイレのうら  
かき、青カン、通天閣、センターの中、な  
ど、私達のまわりの風景は、一見、変化の  
ないような長がします。ところが、日ごと  
見つけた風景とか、人の顔などを、写真と  
して、絵として、再現してみると、そこに  
新しい何かを発見することがよくあります。  
そのへんが、写真や絵を見たリ、写真をと  
ったり、絵をかくときのおもしろさでは

ないでしょうか。

また、一枚の写真が私の一生を変えた。なんて、  
いう言葉を聞いたことがあります。自分の過去や、  
今をふりかえるときに、写真を見ながら、思い出すこ  
とがあります。また、黄色くなりかロボロになっ  
た、自分の家族の写真を大切に持っている人をもよく見  
かけます。

私達と、写真と絵は、意外と身近なものなかもし  
れません。

今回の創造広場は、できるだけ多くの写真や絵を用  
意しておきますので、その中から、一枚なり、二〜三  
枚をえらんで、自分のことを話したり、物語をつくら  
たいしていきたいと思えます。なんやう、むずかし  
そうですが、みんな、はじめての試みなので、アナタ  
も参加して、とにかくやってみましょう!!  
どんな写真をえらぶか、どう使うかは、アナタだいたい!!  
そこから、何が生まれるか!!  
もちろん、自分の大切にしてる写真をもってきてても  
かまいません!!





才2期  
第5回

# 創造広場

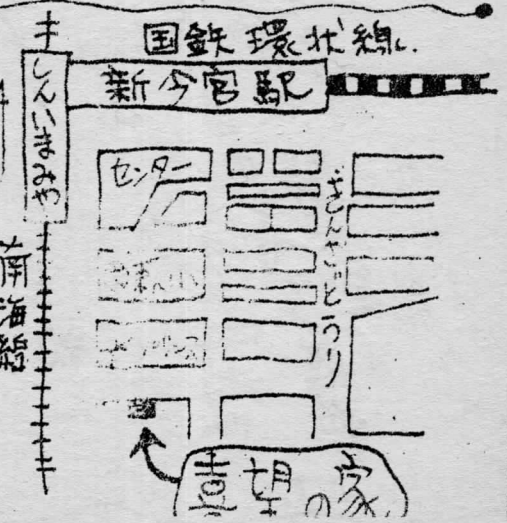
本日(12/18)の創造広場は

## 版画をつくるです。

ちまたでは、年賀状を書き時期で、それに版画  
を使ってやる人も多いようです。釜の仲間にとって、  
年賀状はどうでもいい人も多いと思いますが、今  
回の創造広場では版画をつくらせてみたいと思っ  
ます。版画というのはいろんな魅力をもっています。  
いろんな形の彫刻刀を使って彫る時のおもしろ  
さ。また、インクをつけて刷ってできあがる時の  
期待感心。そして、もう一つ、版画は普通の絵と  
違って、枚数を多くつくる事ができます。



- 日時▶ 12月18日(金) 夜7:00~9:30
- 場所▶ 「喜望の家」一階広場▶
- 参加費▶ 100円(費用込)
- ※版画板、彫刻刀、その他の用具はすべて用意しています。
- ※御自由に参加してください。





新年号

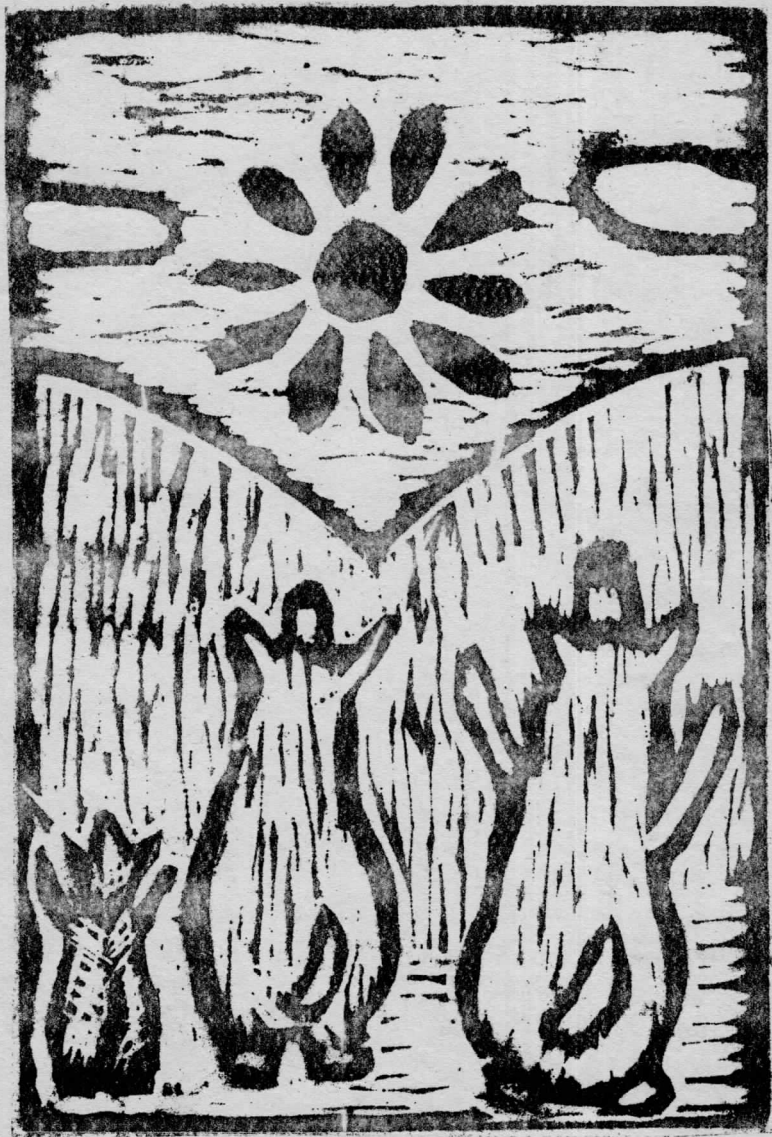
1982  
1月1日

# 創造広場

《1月・2月の創造広場》

通信

今年もがんばってハイハイ



12月18日 創造広場「版画をこころ」  
 このMさんの作より「犬と日の出」

# 創造広場とは



創造広場とは、自分達自身の体を実際に使って、いろんな表現（詩や絵や歌や体操など）で、創造しあい感じあう広場です。


詩や川柳をつくったり、絵をかいたりするときには、やたらとむずかしく、自分たちとは、かけはなれているものように思いがちです。


また、自分でつくって表現しようとするとは、おこつてしまひ


## 4

よむ』 

かく』 

をつくる』 


を物語る』 

をつくる』 

をよむ』 

うたう』 

をつくる』 

らてます。 

※だれでも参加してください。



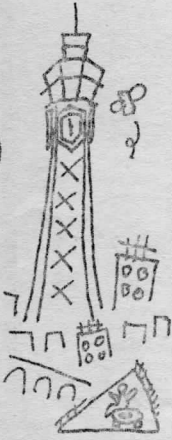
☆場所▽喜望の家一階集会室  
 (左の地図をみてください)  
 ☆会費▽一回100円  
 (資料、材料費、お茶、その他)

☆日時▽毎週水曜日  
 夜7時〜9時

ます。創造広場  
では、そんな気  
持はすてて、へ  
たくそでいいか  
ら自分で創つくって  
みたいと思いま

す。そして、集った者どうして何かを感じ  
あっていきましよう。それが本当の楽しさ  
をとりもどしていくことであるし、仲間づ  
くりであると思えます。

いろんな表現の、感じかたや、基本的な  
やりかたなどを説明しますので、苦手な人  
も、そうではない人も、ぜひ、気軽に参加し  
てください。



# プロ

- 1月6日 『詩』を
- 1月13日 『絵』を
- 1月20日 『川柳』
- 1月27日 『写真』
- 2月3日 『版画』
- 2月10日 『民話』
- 2月17日 『歌』を
- 2月24日 『粘土』で

※体操も毎回や



『昨年11月27日創造広場『引柳をつくる』の作品』

ゼンターの題でー

- ・雨の日にはあやあやと会う顔と顔 野添都
- ・よく知った顔もあるのに言葉です
- ・番号を横目にダンゴ汁にする
- ・数と見るサア来い前へ来いを人が聞く
- ・すれちがい 顔を知りつつことばです 酒天
- ・×ン、トイレ 二の世のにおいしみてなお
- ・いつのまに こうなったのか ひえた床
- ・気をかまえ 笑いを殺し いつからこんな
- ・ひとだまり 夢かけている 取場かな やニダコ
- ・アンパンを片手に走る 取場かな
- ・雨あがり 心ほぐれる 取場かな
- ・センターの仕事へ行ってケタオチだ
- ・暗やみに突いとさげびこだます 三三郎

『昨年12月18日創造広場『版画をつくる』の作品』



通信

# 創造広場

第II期

80

本日

夜々時喜望の家二階

1月13日

創造広場

絵を描く見方

## クロッキー

(人体)

クロッキーは写生方式のひとつでモデルにポーズをとつてもらい5分から30分ぐらいの時間をきめて描きます。

人間が人間を描く、これほど興味の尽きないものはないと思います。イラストでも漫画でも形こそデフォルメ(略す)されていますがそこには人間そのものか息づいています。クロッキーもまたさうだと思ふのです。

実感がとらえられれば、クロッキーは限りないエネルギーを二つにわけます。

## クロッキーの例

5分から30分

今回は参加者が交代でモデルになってもらいます

終了

決められた時間を頭に入れ

開始 (時計の針から)

モデル ↓ ポーズをとってもらいます

終了後ポーズを交えて繰り返して

